

## 式辞

凜と透き通った冷たい空気の中に、まぶしい春の光が差す今日の良き日、多数のご来賓の方々、保護者の皆様のご出席のもと、第三十五回卒業証書授与式を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであります。

兵庫県立三木北高等学校を卒業される第三十五回卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業まことにおめでとうございます。これまで本校教育活動、育友会活動にご理解、ご協力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。

卒業生の皆さんは、3年間、本校で勉強や部活動に励んできました。毎日制服を着て通っていた学校で、あたりまえのように出会っていた人達と、明日から、もう会うことはありません。今はまだ実感がわからないかもしれませんが、時間の流れは皆さんを、それぞれ違う世界へと運んでいきます。そうして、皆さんが飛び込んでいこうとする世界は今、大きな変化のただ中にあります。

世界を動かしているものは何でしょう。それは一言で言えば「空気」です。同じような毎日が続いていても、「不景気」だという「空気」になれば「不景気」になり、「自分の国だけよければいい」という空気になれば「自国第一主義」に世界は動きます。人々は知らないうちに空気を読んで世界を動かしています。けれども、皆さんには、空気を読む人ではなく、空気を動かす人になってもらいたいと思います。

どうすれば空気は動くでしょう。それは正しく「知る」ことから始まります。遠いアフリカの、コートジボアールのカカオ農園で、子ども達が過酷な労働をさせられていることを、皆さんが知ったとします。自分は何もできないし、しないから、知っても知らなくても同じだと思ってはいけません。たとえ何もしなくてもいいのです。世界を動かしているのは「空気」ですから、事実を知ってそれは問題だと思う人が増えると、空気は変わります。昔話に出てくる妖怪が、正体を見破られて消えていくように、カカオ農園の子ども達が過酷な労働

から解放されていきます。世界で起きていることについて正しく知ることが「空気」を動かす第一歩です。

現在は情報技術が発展し、スマホやパソコンでいつでもどこでも情報を手に入れることができるようになりました。その中から、フェイクニュースやわかりやすい陰謀論などに惑わされず、正しい情報を読み取り、自分と違う人の意見もしっかりと聞いてください。その上で、空気を讀んだり、忖度したりせずに、自分の頭で考えるのです。

自分の頭で考える時に、基本に置くものは本校のキャッチフレーズ「人と環境の三木北」にある、「人と環境」です。自分だけでなく世界中の人々の幸せを考えているか、環境に配慮した持続可能な社会を作れるかを基本に物事を考えてください。

次のステップは、自分の考えをまとめて論理的に人に伝えることです。現在は SNS を通して、自分の意見を簡単に世界に発信することができるようになりました。情報を発信するときは自分の情報が真実か、人に伝える価値があるかを考えた上で、自分の意見に賛成する人だけでなく、自分の意見の不正確さや欠陥を議論してくれる公的な場に発表することです。そうすれば、困難な問題を一緒に解決してくれる仲間ができます。そしてその仲間とともに世界の空気を少しずつよい方向へ変えることができます。

これから始まる新しい生活の中で、皆さんが、しなやかにたくましく、よりよい世界を作っていってくださることを期待しています。

卒業生の皆さんが、これからもずっと健康と幸運に恵まれ、豊かな人生を歩まれることを願って、式辞といたします。

2020年2月28日

兵庫県立三木北高等学校

校長 吉田 尚美